

船舶事故等調査報告書

平成26年11月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014横第44号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成26年4月17日 13時35分ごろ
発生場所	京浜港川崎区 神奈川県川崎市所在の川崎東扇島防波堤西灯台から真方位012° 785m付近 （概位 北緯35°29.3′ 東経139°45.2′）
事故等調査の経過	平成26年5月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 ^{するが} 駿河丸、498トン
船舶番号、船舶所有者等	140746、若葉汽船株式会社
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船 左舷船首外板に凹損 岸壁 防舷材が脱落
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、コンテナ43個を積載して京浜港川崎区に至り、船長が、自ら操舵及び操船に当たり、手動操舵でコンテナバース（以下「本件バース」という。）に向け、船首方位と本件バースとの角度を約30°に保持し、機関を中立運転として約1.0ノットの対地速力で接近した。 船長は、舵中央として本件バースに接近中、ファクシミリで受信した荷役に関する情報を見ており、本件バースの至近になって危険を感じ、全速力後進としたものの、平成26年4月17日13時35分ごろ船首部が岸壁に衝突した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 2、視程 約15km 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の初期
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、京浜港川崎区において、本件バースに接近中、船長がファクシミリで受信した荷役に関する情報を見ていたことから、岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、京浜港川崎区において、本件バースに接近中、船長がファクシミリで受信した荷役に関する情報を見ていたため、岸

	壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・着岸作業中は、操船に集中すること。